

茨木地区 保護司会だより



十王図展示

識者によるとこの図は鎌倉時代末期14世紀前半のものと考えられ、日本に現存する最古の六道十王図の一つとされる。右幅に初七日、二七日、三七日、左幅に七七日、百箇日、一周忌の尊名があることから、元々はこの間に四七日、五七日(閻魔大王)、六七日等を描いた中幅があったと思われるが現存しない。この地にはかつて(西方)浄土寺という真言宗の大寺院があったという伝承もあり、釈迦涅槃図とともに中世の信仰を今に伝える貴重な遺産である。

(文責 畠山眞悟保護司 写真 木村威英茨木市文化財愛護会理事)

弥勒堂の六道十王図(水尾四丁目)

盛夏の候 皆さまにはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

日ごろは、市政の各般にわたり、とりわけ、更生保護活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

犯罪や非行の背景には、望まない孤立や社会の中での「生きづらさ」が存在していることが少なくありません。過去の過ちから立ち直ろうとする人々には、十分な時間と地域の中での居場所が必要です。

今年で75回目を迎える「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

社会を明るくする運動茨木市推進委員会といたしましては、社会におけるさまざまな「生き

第七十五回
「社会を明るくする運動」に寄せて

社会を明るくする運動茨木市推進委員会
会長 福岡 洋一
(茨木市長)

づらさ」に寄り添える、誰一人取り残さない明るい社会の実現のために、今年度も、啓発ポスターの掲示や刑務所作業製品の販売などを計画しております。

また、7月に開催する市民大会は、昨年に引き続き、文化・子育て複合施設「おにクル」の1階で開催いたします。どなたでも参加いただける催しを実施いたしますので、皆さまどうぞお越しください。

これらの取組が、「生きづらさ」を抱える人、再出発を図ろうとする人への理解と支援に繋がる機会になることを願っております。

皆さまには、「社会を明るくする運動」の趣旨をご理解いただき、犯罪のない明るいまちづくりにより一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



茨木市更生保護サポートセンター 電話 072-620-8310 はんざいゼロ

非行・犯罪に関する相談をお聞きます。秘密は厳守します。
来所の際は必ず電話予約をお願いします。

【開所時間と相談予約の受付時間】平日10時～16時(祝日と年末年始は除く)

【所在地】茨木市役所合同庁舎6階(茨木市東中条町2番13号)

予約をすれば夜間、土曜日、日曜日に相談することも可能です。

※平素は、保護観察対象者やその家族との面談、保護司の研修、更生保護関係団体相互の情報交換、会議などに使用されています。

茨木市更生保護サポートセンター 通信

面談にはサポートセンター以外の 公共施設も利用しています

更生保護サポートセンターは、右表の通り多くは保護観察対象者と保護司の面談に使われます。

昨年の滋賀県大津市の事件を受け、保護司の自宅での面談からサポートセンターなど公共施設での面談の重要性が増しています。

サポートセンター以外の公共施設での面談も茨木市の補助により無料できるようになりました。対象者や保護司の都合によってはサポートセンターを使いにくい場合もあると思われるますので、その際は市内の公共施設を利用することができます。

保護司会の活動はホームページで

昨年度より茨木地区保護司会のホームページが本格的に稼働しました。

この「保護司会だより」のバックナンバーも順次更新されるので、下のQRコードよりアクセスしてご覧ください。

保護司会の活動がより多くの方に届く一助となり、更生保護の一層の推進に役立てていただきたいと願っています。

(広報部)



茨木地区保護司会のホームページ <https://ibarakihogoshikai.com/>



★令和6年度下半期の利用状況★ (R6.10.1～R7.3.31)

保護観察官の定期駐在	6回
保護観察対象者との面談	50回
会 議	
保護司会	16回
更生保護女性会	19回
茨木BBS会	5回
更生保護推進協議会	2回
更生保護協力雇用主会	2回
その他	0回
市民からの相談	1件
保護司来所人数(延べ人数)	228人

開 所 日 数	10月	11月	12月	合 計
	22日	20日	20日	
	1月	2月	3月	
	19日	18日	20日	
				119日

茨木地区 事件係属状況	保護観察 件数	生活環境調整件数	
		刑務所等	少年院
令和6年10月	34	39	7
令和6年11月	36	39	7
令和6年12月	38	39	6
令和7年 1月	37	45	6
令和7年 2月	35	44	6
令和7年 3月	37	43	7

(各月末日現在)

**社会を明るくする運動
茨木市推進委員会総会開催**

令和7年5月19日、社会を明るくする運動茨木市推進委員会総会が、会長である福岡市長をはじめ構成団体の代表が参加して開催されました。

議長の田畑敬副会長（茨木地区保護司会会長）による議事進行のもと、令和6年度活動報告、令和6年度決算報告及び会計監査報告が承認され、令和7年度社会を明るくする運動茨木市実施要綱、令和7年度予算が可決成立しました。（広報部）



いばらき×立命館DAY



令和7年5月18日（日）に立命館大学大阪いばらきキャンパスにて開催された「いばらき×立命館DAY」に、社会を明るくする運動茨本市推進委員会から2団体が出展しました。



バルーンアートコーナー

出展：茨木地区保護司会



わなげコーナー

出展：茨木BBS会

令和7年度 茨木地区保護司会 中学校区 班編成表

中学校区	小学校区	氏 名		中学校区	小学校区	氏 名		
養 精	中 条		川 崎 詔 子	東 雲	玉 島 東		佐々木 大 照	
			諏 訪 典 子				富 田 彰 乃	
			畠 山 真 悟		白 川	◎	片 岡 知 龍	洋 一
		◎	兼 光 眞 徳 郎				敷 敷 和	
	東奈良		古 賀 ひでみ		玉 櫛	◎	加勢 本 正 司	
西	春 日		岡 村 節 恵	天 王	天 王		山 野 右 子	
			岡 玲				田 畑 敬 子	
			小 路 栄 作				吉 田 博 子	
	郡		中 田 孝		葦 原		樋 口 禎 久	
		◎	若 山 香 寿 美				東奈良	河 田 真理 子
			畑 田 福 元 康 行				春丘 殿 村 昌 弘	
東		茨 木 土 方 慶 之	西 陵		沢 池 坂 本 俊 一			
		大 池 加 島 早 織			穂 積 安 間 明 頼 子			
	中 津			中 村 龜 雄 美	西		植 田 孝 ル ミ 子	
				中 渡 辺 明 美			辻 道 子	
豊 川	豊 川		岸 田 尚 美	平 田	玉 島	◎	小 西 正 明 典 子	
		◎	小 阪 博 史				桐 島 康 照 子	
			福 森 昭 順		中 津 水 尾		◎	松 本 早 智 子
			郡 山 宮 原 岩 美 也				山手台	◎
南	葦 原		射 場 一 之 章	北 陵	忍頂寺		大 神 美 和 子	
			古 市 暢 隆 俊 子				木 元 美 和 子	
		◎	隈 道 満 正 義 里				橘 藤 和 慶 哉 子	
三 島	三 島		◎	道 満 正 義 里		中 村 洋 子		
			玉 川 美 里		◎	東 森 範 夫 子		
		◎	北 浦 雅 代 博 司	彩都西	彩都西	◎	上 沼 愛 子 雄 一	
	下 田 平 裕		清 溪			西 小 幸 利		

◎は班長 令和7年5月25日現在

社会を明るくする運動

● 社会を明るくする運動とは？

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。茨木市では、更生保護団体をはじめとして、教育、社会福祉、商工関係等さまざまな分野の51の団体によって「社会を明るくする運動茨木市推進委員会」が組織されており、社会を明るくする運動の啓発及び広報活動を行っています。

第75回 社会を明るくする運動 市民大会

茨木市では、社会を明るくする運動の強調月間である7月に、更生保護活動の周知を目的として市民大会を開催しています。今年度は、文化・子育て複合施設「おにクル」の1階で、誰でも気軽に参加できる催しを企画しておりますので、皆さまぜひお越しください。

開催日 令和7年 **7月19日**(土)

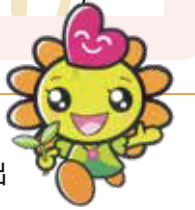
場 所 文化・子育て複合施設 おにクル1階
きたしんホール、オープンギャラリー

内 容 ブース出展（午前 11 時～午後 3 時）

- 保護司会社明部によるバルーンアートコーナー
- 更生保護女性会によるうちわづくりコーナー 等

ホールイベント（午後2時～午後3時30分）

- 茨木市立東中学校吹奏楽部による演奏
- 社会を明るくする運動PR大使
吉本興業のお笑いコンビ「span!」の出演
- 社会を明るくする運動構成団体による活動紹介 等



アカルイーネ
「社会を明るくする運動」
阪府推進委員会キャラクター

今後の 取組み	令和7年7月	市内の鉄道駅(JR・阪急・大阪モノレール)と路線バス(近鉄バス・阪急バス)の車内にポスターを掲出
	令和7年7月	茨木防犯協会の青パト等による広報活動
	令和8年1~2月頃	イオンモール茨木矯正展

「地域活動助成制度」のご活用を

社会を明るくする運動茨木市推進委員会では「社会を明るくする運動」への理解を深めていただくためには、犯罪・非行防止に繋がる各地域での取り組みが重要と考え、地域活動助成制度を設けており、昨年度は7件の申請がありました。

今年度も引き続き地域活動助成制度を設けています。詳細は各校区の保護司(左表)にお尋ねください。

社会を明るくする運動 茨木市推進委員会の構成団体(順不同)

茨城市
茨城市議會
大阪府吹田子ども家庭センター
茨城市人権擁護委員会
茨城市人権啓発推進協議会
大阪府茨城警察署
茨城少年サポートセンター
茨城防犯協会
茨城警察署管内少年補導員連絡会
大阪府公安委員会 茨木地区少年指導委員
大阪府少年補導員補助員茨木地区連絡会
茨木交通安全協会
茨城市教育委員会
茨城市公立中学校校長会
茨城市公立小学校校長会
茨城市人権教育研究協議会
茨城市小・中学校生活指導研究協議会
茨城市立公民館長連絡協議会
茨城市PTA協議会
茨城市体育協会
茨城市民生委員児童委員協議会
社会福祉法人 茨城市社会福祉協議会
茨城市赤十字奉仕団
茨城市住みよいまじく協議会
茨城市自治会連合会
茨城市小学校青少年健全育成運動協議会会長連絡会
茨城市小学校青少年健全育成運動協議会会長連絡会
茨城市子ども会育成連絡協議会
茨城市青少年指導員連絡協議会
茨木スカウト連絡会
茨城市母子福祉会
茨木商工会議所
茨城市商業団体連合会
茨木ロータリークラブ
茨木東ロータリークラブ
茨木ライオンズクラブ
茨木ロータリーオンズクラブ
茨木西ロータリークラブ
茨木ハートロータリーオンズクラブ
一般社団法人 茨木青年会議所
茨城市消費者協会
茨城市更生保護推進協議会
茨木地区保護司会
茨木地区更生保護女性会
茨木地区更生保護協力雇用主会
茨木BSB会
浪速少年院
茨木労働組合総連合
連合大阪北地域協議会北摂地区協議会茨木連絡会
以上51団体

特集1

保護司・勉強中！

茨木地区保護司会では毎年、年間7～8回の研修会を開催し、保護観察の基本的な事項から、様々な社会情勢まで積極的に学んでいます。

地域別定例研修会のレポート

5月の研修会では、薬物事犯について、茨木地区担当観察官から、最近の動向を踏まえた講義を受けました。次に、講義の主な点をまとめました。

1 現状と法改正

大麻事犯の検挙数は急増し、特に10代・20代での増加が顕著。

法改正により、大麻は「麻薬」として扱われ、所持だけでなく使用も7年以下の懲役が適用されるようになりました。

2 薬物依存の特徴

すべての使用者が依存症というわけではありませんが、薬物を使用していれば、誰でも依存症になり得ます。薬物依存は慢性的で進行性が高く、死亡率が高い病気。性格が変わることや、他の依存

へ移行しやすい特性もあります。

3 再乱用防止の取り組み

保護観察所では、薬物を乱用した人を対象に、ワークブックを活用したプログラムを実施し、再犯防止に努めています。近年、対象を拡充するためプログラムの改変が行われ、大麻事犯者への対応も強化されました。

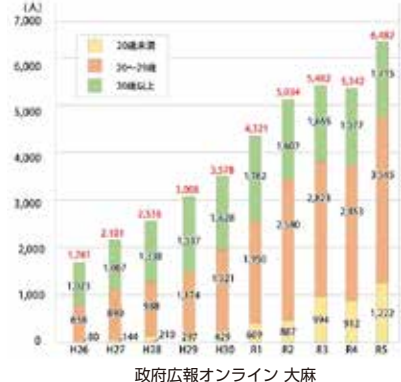
4 担当観察官の意見

大麻は「覚醒剤より依存性が低い」と言われるものの、すべての薬物依存は病気であり、適切な対応をしないと再

犯につながる恐れがあります。特に、大麻事犯者は犯罪意識が乏しく、「他国では合法」「自然の草だから安全」などの誤った認識を持つ傾向があるため、このような犯罪行為の正当化に気付かせ、規範意識を高める必要があります。実際に大麻は10代・20代に急速に広がっており、対策が急務とされています。

5 受講者の感想

保護観察対象者は、犯罪者としてのレッテルを貼られ、強いストレスを感じることが多く、薬物に手を出しやすい状況にある可能性があります。保護司として、最新の情報を得て適切な対応を取る重要性を再認識しました。



復習してみました。

政府広報や厚労省、警察関係のインターネットの情報から、若者の大麻使用者を防ぐため、どのような行動をとるべきかとまとめてみました。

1 新しい知識を伝える

大麻には依存性があり、記憶力低下や精神疾患のリスクがあるため、科学的根拠に基づいた正しい情報を伝えることが重要。

2 「断る力」を育てる

友人からの誘いに流されないよう、「一度だけなら大丈夫」といった言葉に負けない断る力を養う。

3 相談できる環境を整える

ストレスや孤独感が背景にある場合も多いため、信頼できる大人が寄り添い、相談できる環境を作ることが予防につながる。

4 社会全体で啓発活動を強化

学校や地域社会で薬物乱用防止の啓発活動を行い、講演会やワークショップを通じて若者が正しい知識を持つ機会を増やす。

終わりに

薬物の問題は個人の健康だけでなく、社会全体にも大きな影響を及ぼします。若者が正しい選択をできるよう支援し、健全な未来を築くための対策が求められています。保護司をはじめ市民にも積極的な行動が求められていると思います。

特集2

前進！更生保護関係団体

茨木BBS会 茨木地区更生保護女性会 茨木市更生保護推進協議会の各会長が、昨年から本年にかけて交代されました。新会長に抱負や今後の活動について、寄稿いただきました。

茨木BBS会



追手門学院大学
心理学部4年生
会長 榎本宗太郎

令和6年度から茨木BBS会会長を務めております、榎本宗太郎と申します。

BBS活動は、非行や生きづらさを抱えた少年少女たちと向き合い、寄り添いながら更生や成長を支えるボランティア活動です。

私たちは、どんな状況にある子どもたちにも「話を聞いてくれる人」「信じてくれる人」が必要だと思っています。BBS活動を通して、関わった子どもたちに「ここにいていいんだ」「出会えてよかった」と思ってもらえるよう、日々活動しております。

当会の主な活動を三つご紹介させていただきます。

一つ目は「ともだち活動」です。様々な悩みを抱える少年・少女に対して、兄や姉のような立場で接することで、同世代としてそれぞれに寄り添い、立ち直りを支援しております。保護観察官や保護司さんのサポートのもと、大人とは違う目線で関わることで、時には本心を打ち明けてくれることもあり、大きなやりがいを感じる活動です。

二つ目は「少年院学習指導」です。現在は、浪速少年院にてICT技術科の補助、和泉学



園にて数学の集団学習補助を担当しております。少年たちの素直で実直な学ぶ姿勢に、私たちが感銘を受けることも多くあります。

三つ目は「いばスポ」です。月に1回程度、おにクルにて地域の子どもたちと大学生が交流できるスポットとして、居場所づくりに取り組んでいます。今年からの新しい活動です。来てくれた子どもや保護者の皆様からは好評をいただいています。

このほか、ぜひ当会の公式サイトやInstagramをご覧ください。

昨年より広報活動にも力を入れ、会員数・活動数ともに倍近くまで増やすことができました。今後も、BBS活動や更生保護の大切さをより多くの方に知っていただくよう、さらに精進してまいりますので、皆様には、今後ともご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

茨木地区更生保護女性会



会長 太田景子

今年4月の総会で会長に選任され、重責に身の引き締まる思いでいっぱいです。日頃は当更生保護女性会に対して皆さまには多くのご理解とご協力をいただき、大変感謝いたしております。

更女会は、〝お手伝い〟的要素の活動が多いのですが、本会の独自のものとして「なでしこほっとサロン」を開いています。近年は隔月に「おにクル」での開催が軌道に乗ってきました。

通りがかりの親子連れや、友人どうしの

茨木市更生保護推進協議会



会長 小阪武司

昨年6月の更生保護推進協議会総会にて、会長に選任されました。掛合前会長から、大変重い責任を引き継いだと感じています。日頃より更生保護活動に尽力されている皆さまには、心より敬意を表します。誠にありがとうございます。

当協議会「更推協」は、犯罪や非行のないまちづくりを目指し、更生保護活動の普及・推進を行うとともに、市内の更生保護団体を支援する役割を担っています。いわば、更生保護活動の背中を押す団体です。具体的には、

方々が参加されるようになりました。犯罪予防のための子育て支援や、楽しい活動として新規会員の入会にも繋がっていることは嬉しいかぎりです。

また昨年は「第一ブロック研修会」、一昨年は「結成50周年記念式典」と大きな行事が開催されましたが、その時の会員おのの活躍と協力には感謝することしきりです。ここぞというときのチームワークの良さを改めて感じました。

本会も会員数の減少と高齢化は深刻。また新規会員募集の難しさは大きな課題です。しかし、いざという時には助け合える仲間と一緒に体にむち打って、更生保護のボランティアとしての活動をしたいと思っています。

今後も皆さまには、一層のご指導とご協力をお願いいたします。

機関紙の発行や講演会の開催、さらに施設見学のパスツアーなども企画しています。

近年、犯罪の傾向として、情報の電子化による過剰な情報がストレスの要因となったり、SNSの普及によって「幸せでなければならぬ」という強迫観念が生まれるなど、心理的な問題が犯罪行動の背景にあるケースが増えているように感じます。だからこそ、「コスバ・タイパ」といった効率を重視するデジタル空間ではなく、保護司の皆さんやBBSの若者たちが直接面談し、話を聞き合うことは、対象者にとって非常に貴重な体験になるのではないのでしょうか。

「更推協」は、更生保護活動に携わっていない多くの方々にも広く理解していただき、さらに多くの支援、後押しをできる団体を目指してまいります。引き続き、ご支援・ご協賛をよろしくお願いいたします。

